

Electronic Journal 第1921回 Technical Seminar

タッチパネル/ディスプレイ用高機能ガラス 徹底解説 ～高機能ガラスの市場・技術・要求性能などを詳解～

主催：電子ジャーナル

日時：10月17日（木）10:30～16:30

会場：連合会館（東京・御茶ノ水）

参加費：47,500円（テキスト代/昼食代/消費税含む）

定員：30名 定員になり次第、締め切らせて頂きます。お早めにお申込み下さい。

タッチパネルやディスプレイの基板などに用いられる高機能ガラスは、スマートフォン/タブレットPC市場の急成長やタッチパネルを採用する最終製品の拡大などを背景に、素材や加工方法の進化が日々求められています。さらに、ガラスとは別の新たな素材の研究開発も進みつつあり、最終製品メーカーは元より、ガラスを含む関連部材メーカーや製造装置メーカーにとって目が離せないところです。本セミナーでは、タッチパネル/ディスプレイ用高機能ガラスおよび関連部材の最新動向と今後の展望について、同分野の第一人者のお二人に分かりやすく、かつ詳細に解説していただきます。

《プログラム》

タッチパネル用ガラスの最前線

【10:30～12:30】タッチパネル用ガラスの最新動向

1. タッチパネル市場の動向 ～全体市場に占める各種用途の概要～
2. ガラス材料の製造方法 ～用途別トレンドの推移～
 - 2.1. 初期の板ガラス製造方法
 - 2.2. フルコール法/コルバーン法
 - 2.3. フロート法のディスプレイ用途への展開
 - 2.4. 薄ガラス製造に適したダウンドロー法
 - 2.5. ダウンドローを改善したニューダウンドロー法
 - 2.6. 平坦度の改善、歩留りアップが飛躍的に進んだフュージョン法
 - 2.7. 古くから採用されていた薄型対応に向けてのエッチング処理
 - 2.8. ガラス代替材に対抗するガラスポリマーへの取り組み
3. 車載用で安定的に増加するガラス/ガラスタイプ抵抗膜式タッチパネル
 - 3.1. 薄板ガラスの平坦度改善で歩留り向上
 - 3.2. 化学強化不要の極薄ガラス
 - 3.3. ガラス板厚と押し感度
 - 3.4. 薄板ガラスが必要とされる理由と代替材の可能性
4. 方式別タッチパネルと必要とされるガラス材料
 - 4.1. 光学式タッチパネル
 - 4.2. 超音波表面弾性波方式タッチパネル
 - 4.3. 電磁誘導方式タッチパネル
5. 静電容量方式タッチパネル用カバーガラスと加工技術

- 5.1. 個別加工及び多数個取り加工ガラス
- 5.2. 個別加工タイプの2次元、3次元加工への展開
- 5.3. ハイブリッド材採用の可能性
- 6. 各種加工および評価
 - 6.1. ケミカルエッチング処理品の品質レベル
 - 6.2. 化学強化品の評価法及び評価例
- 7. 技術指向で市場を発展させる周辺加工技術
- 8. まとめ ~ 有機・無機ハイブリッド材の進展が今後のトレンドを決める ~
(株)機能性ガラス研究所 代表取締役 藤田 卓氏
ディスプレイ用高機能ガラス基板/関連部材の最前線

【13:10 ~ 14:40】ディスプレイ用高機能ガラス基板/関連部材の最新動向

- 1. フラットパネルディスプレイの技術動向と基板への要求事項
 - 1.1. LCD
 - 1.2. OLED
 - 1.3. EPD (電子ペーパー)

【14:50 ~ 16:20】2. タッチパネルの技術動向と基板への要求事項

- 2.1. カバーガラス、カバープラスチック
 - 2.2. カバーガラス一体型TP、カバープラスチック一体型TP
- Ukai Display Device Institute 技術コンサルタント 鵜飼育弘氏

【16:20 ~ 16:30】名刺交換会